

## 桃谷駅(JR環状線)②

## 日本最古の橋と御勝山古墳をめぐる



「大阪あそび歩マップ集」  
その3 No.139

## JR桃谷駅

駅の場所は、ちょうど上町台地の東側に位置しています。ここから桃谷商店街を西から東に歩いていくと、ゆっくりと地面が下傾斜していきます。古代は商店街の東側には、湿地帯や河内湖が広がっていた名残です。

## ①桃谷商店街

ここは江戸時代は旧桃谷街道でした。大坂・天王寺から奈良へ向かう街道筋で、多くの旅人が行き交いました。

## ②つるのはし跡

文献上、日本最古の橋です。「しのぶれど人はそれぞれ 御津の浦に 渡り初めにし りかい津の橋」という小野小町の歌碑があります。

## ③猪飼野保存会

もとは猪飼野若中会と称しましたが、昭和48年(1973)の住居表示施行によって伝統ある猪飼野の地名が消滅するので、由緒ある地名や史跡・地車などの文化を伝承しようと改称されました。

## ④木村権右衛門邸跡(ご神木)

「猪飼野から生駒の山すそまで他人の土地を踏まずに行けた」という富豪・木村権右衛門邸宅跡です。現在は駐車場ですが、樹齢400年の椎の木のご神木と、立派な石灯笼、庭石が残されています。木村家は木村重成(大坂夏の陣で討死。享年23歳)の姉婿・猪飼野左馬助の子孫で、ご神木は重成公のお手植えといわれます。

## ⑤土手道(百済川跡)

かつては土手道(平野街道)で、

傍らには旧平野川が流れていました。旧平野川は旧大和川の支流で、古代には「百済川」と呼ばれていました。

## ⑥小路の宮跡

大きな椋の木と猪飼野小路の地車小屋、日露戦争慰霊碑があります。かつて猪飼野には猪飼野村と分郷の小路村の2つの村落があり、ここに小路の宮がありました。

## ⑦俊徳街道

能「弱法師」ゆかりの街道で、「弱法師」とは河内国の高安通俊の子・俊徳丸のことです。通俊は他人の讒言でわが子・俊徳丸を追い出したことを後悔して天王寺西門でお布施を行うと、そこで盲目の乞食で「弱法師」とな



った俊徳丸と再会して一緒に故郷へ戻る…という物語です。西俊徳地藏堂は2人が休んだ場所だといわれています。

## ⑧御勝山古墳

大坂の陣で徳川秀忠がここに陣を置いて戦勝したことから御勝山と呼ばれています。墳長南北約112メートル、東西約55メートル、高さ約8メートルの前方後円墳で5世紀ごろに造られました。当時、古墳は河内湖に面していて、さらに「倭の五王」(讃、珍、濟、興、武)が東晋や宋との朝貢を繰り返した時期です。古墳の被葬者は不明ですが、渡来人と国際交流した港の有力者だったかもしれません。



JR桃谷駅

